

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 生産振興課
 担当名: 主穀担当
 内線: 4036

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B23	水田小麦等産地生産性向上事業		一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	米麦産地育成対策費		
事業期間	令和 4年度	根拠法令	水田麦・大豆産地生産性向上事業実施要領 国産小麦産地生産性向上事業実施要領		針路 分野施策	12 1202	儲かる農林業の推進 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール SDGsターゲット	
1 事業の概要			5 事業説明						
<p>小麦等は、堅調な国産需要がある一方、量・品質・価格の安定供給が実現できず、輸入品が大部分を占めている。</p> <p>そこで、輸入小麦等の原料の代替に向けて、県産小麦等の生産拡大を支援するため、産地に対して、団地化の推進や新たな栽培技術の導入等を一体的に支援し、生産体制の強化、収益性・産地性の向上を推進する。</p> <p>水田小麦等産地生産性向上事業 △48,284千円 補助金の減額</p>			<p>(1) 事業内容 水田小麦等産地生産性向上事業 8,516千円 団地化の推進及び生産性の向上や環境に配慮した営農に向けて技術の新規導入を図る先進的な小麦等の産地に対し、ソフト・ハード両面から支援する。</p> <p>(2) 事業計画 水田小麦等産地生産性向上事業 行田市ほか5地区 ①小麦等団地化の推進、②先進的な営農技術の導入、③機械・施設等の導入、④生産拡大助成</p> <p>(3) 事業効果 県産小麦等生産の団地化や営農技術の導入に加え、機械の導入等を支援することにより、小麦等産地の生産体制の強化および収益性・生産性の向上が図られることで、県民に対し小麦等を安定的に供給する体制が構築できる。</p> <p>(4) 補正予算の概要 補助金の要望が見込みを下回ったことによる減額</p>						
2 事業主体及び負担区分									
①(国10/10、県0、市0)事業者0									
②(国10/10、県0、市0)事業者0									
③(国1/2、県0、市0)事業者1/2									
④(国10/10、県0、市0)事業者0									
3 地方財政措置の状況			なし						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員			9,500千円×0.3人=2,850千円						
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金							
決定額	△48,284	△48,284					0	8,516	
現計額	56,800	56,800					0		

事業内訳書

事業名	水田小麦等産地生産性向上事業		
単位事業名	水田小麦等産地生産性向上事業	予算額	△ 48,284千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△48,284	—	事業者への補助金の減 △48,284千円
合計	△48,284	—	